

様式3

令和6年度特色ある学校づくり推進事業報告書

学校番号（103） 学校名 豊田市立豊南中学校

1 テーマ 豊南の薔薇を地域に広めよう「薔薇園での活動を通して」

2 ねらい

本校のシンボルとして受け継がれている薔薇は、50年以上前から行われ、現在約250本を数えるまでになった。この薔薇を地域の公共施設に贈る交流活動を始めて30年あまり経とうとしている。また「豊南ローズフェスティバル」として、5月に薔薇園を開放し、地域の方々の憩いの場になっている。生徒たちは、整備美化委員会の活動や、清掃担当、朝ボランティア等による薔薇園の草取り、花がら摘みなどの環境整備を行っている。また、地域学校共働本部による薔薇園ボランティアを募集し、保護者や地域の方々とともに、薔薇園の手入れを行った。このように生徒だけでなく、地域の誇りになっている「豊南の薔薇」を通して、地域とともに生徒を育てることを目標に取り組んだ。

3 活動内容

（1）薔薇園の管理

- ①苗の定植作業 木の入れ替え(12月～2月)
- ②薬剤の散布作業(4月～11月)
- ③除草作業(4月～3月)
- ④花がら摘み(5月～1月)
- ⑤剪定(業者に依頼・年間2回)
- ⑥支柱立て
- ⑦施肥

（2）薔薇の活用

- ・生徒の心を和ませ豊かな心を育むために、各教室の花瓶に飾った。身近な環境で薔薇を目にすることを増やすことで、薔薇に対する愛着や美しい環境を保つことの大切さを意識して生活することができた。
- ・薔薇園だけでなく、正面玄関や校長室などに薔薇を生け、来校者に楽しんでいただくようにした。
- ・3年生の進路学習における高校の先生方、区長さん、2年生の職業人に学ぶ会等講師で来校される方々へ生徒が薔薇を花束にして贈った。

（3）薔薇を通した交流

- ・整備美化委員を中心に、地域の公共施設等に薔薇の花束を贈り交流を図った。また、地域の方々に薔薇園を開放することで、地域の方々の憩いの場所や交流の場所を提供することができた。薔薇園の開放を通して、開かれた学校づくりを進めることができた。

4 成果と課題

(1) 成果

- ・薔薇園の手入れを清掃活動だけでなく、朝ボランティアで多くの生徒が行い「豊南中生にとって大切な薔薇園」という意識を高め、誇りをもつことができた。
- ・地域学校共働本部と連携し、保護者や地域の方々からボランティアを募り、草取りなどの整備活動を行うことで、「地域にとって大切な場所」という意識を高めるだけでなく、参加者相互の交流を深めることができた。

(2) 課題

- ・薔薇園との関わりでは、例年のお世話になっている地域の方へ薔薇の贈呈を行った。今後は、学年の総合的な学習の授業などでも活用し、薔薇園との関わりや情報発信を積極的に行っていきたい。

(3) 「特色ある学校づくり推進事業」に補助員を配置したことによる成果

(心の相談員について)

- ・来室者は少なかったが、積極的に校内を巡り、生徒の様子を見守っていただいた。ちょっとした変化に気付き担任・学年部に伝えることで、その後の相談につながるケースもあった。また、昨年度から実施されている校内はあとラウンジでも、教員との共同で、生徒の対応や見守りを行った。相談員の視点からのアプローチで声をかけるなど、安心した表情になる生徒が増えている。
- ・養護教諭やスクールカウンセラーとは違った立場で生徒を観察し、相互に情報交換することで、生徒理解につながった。

(校内整備員について)

- ・薔薇園の整備だけでなく、校地の草刈りや樹木の剪定などを熱心に行っていただいた。校地内や周辺の環境をきれいに保つことができただけでなく、これまで手つかずな場所の作業により、校内環境整備の手助けになっている。

5 保護者・地域への情報発信の取組実績

- (1) 学区のこども園の園児が薔薇園を訪問した。
- (2) 交流館に立て看板を設置していただき薔薇園の開放について宣伝を行った。
- (3) ホームページや地域共働本部からの通信などに、薔薇の様子や関連する活動、ボランティアなどの取組について紹介した。